

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。  
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 27 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務  
調査船等を活用した学習支援活動 第 19 回



- ◇平成 27 年 10 月 21 日（水） 9:30～10:30
- ◇参加者 石狩市立生振小学校 4 年生  
児童 7 名 教諭 1 名

【学習コース】 弁天丸茨戸川下流コース（茨戸川艇庫船着き場→志美運河→石狩河口橋付近 往復）

【学習行程】

時刻	内容
9:30～9:35	集合、挨拶、注意事項伝等
9:35～10:25	弁天丸乗船
10:25～10:30	集合、挨拶、注意事項伝等

【学習内容】

- ◇弁天丸
  - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
  - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
  - 石狩川（下流）の過去の様子

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか  
波の色が変化してすごい！と思いました  
ばらと川と石狩川のさかいめが見えました  
船がかっこよかったです
- ◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか  
定置網の中の魚がどれくらいの大きさなのか気になりました  
水門が閉まるのを見たい  
岡崎文吉さんについてもっと知りたいです
- ◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか  
ワカサギ釣りと魚の探索  
川の博物館はすごいことがわかりそう  
定置網をあげてみたい

【実施状況写真】



注意事項説明



位置を確認



心地よい風



エンジンルームを見せてもらいました



水門はどうやって閉まるのだろう



護岸を見つけました